

2023年5月30日

各 位

会 社 名 ITbook ホールディングス株式会社
代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 前 俊 守
(コード：1447、東証グロース)
問 合 せ 先 執 行 役 員 管 理 本 部 長 兼 C F O 野 間 崇
(電話番号：03 - 6770 - 9970)

株主提案に対する当社取締役会意見に関するお知らせ

当社は、当社の株主（以下、「提案株主」といいます。）である株式会社ホワイトストーン及び恩田饒氏の連名により、2023年6月26日（月）開催予定の第5回定時株主総会（以下、「本総会」といいます。）における議案について株主提案（以下、「本株主提案」）を行う書面（以下、「本株主提案書面」）を受領しておりましたが、本日開催の当社取締役会において、本株主提案について反対することを決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本株主提案の内容

(1) 議案

取締役6名選任の件

(2) 議案の要領及び提案の理由

別紙に記載のとおりです。なお、提案株主から提出された本株主提案書面の該当記載を原文のまま掲載したものであります。

2. 本株主提案に対する当社取締役会の意見

当社取締役会は、以下の理由により、本株主提案に反対いたします。

3. 株主提案の議案に対する反対理由

(1) 会社提案による経営体制が、当社の企業価値向上に最適であること

2022年5月16日公表の「中期経営計画の変更のお知らせ」に記載のとおり、当社は新たな経営方針として「社会問題解決型企業」と「選択と集中」を掲げております。

過去、本株主提案の取締役候補者である恩田氏を中心とし、当社グループの財務状況を顧みない経営は、アパレル事業・ECモール事業等の不採算事業を生み出し、多額の損失を計上しました。

この状況を改善するため、2021年6月の株主総会で新経営陣をご承認いただいた後、現在に至るまで、代表取締役社長 前 俊守（以下、「前氏」といいます。）を始めとする業務執行取締役は、コーポレートガバナンスの強化として選任した社外取締役の豊富な経験と知見に基づく意見・助言の下、上記の経営方針に基づき事業運営を進めてまいりました。

その結果、2023年3月期の経営成績（2023年5月15日付「2023年3月期 決算短信」公表

数値)は、売上高 30,512 百万円、営業利益 681 百万円、経常利益 655 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益 55 百万円となりました。これは当社グループ上場来、最高の売上高・営業利益・経常利益の達成となっております。本株主提案に「企業価値は向上していない」と記載されておりますが、上記経営成績より、当社グループの企業価値は確実に向上していると自負しております。

現在、当社グループは、さらなる成長と企業価値向上のため、グループ管理体制の強化・管理部門の強化・決算早期化等の様々な改革を推し進めております。ITbook ホールディングスグループとして、一つ上のステージに上がるためにはこれらの改革は必要不可欠であります。当社グループをよく理解している取締役の先導の下、引き続き的確な経営判断を行っていく必要があると考えております。

当社取締役会は、これらを総合的に判断した結果、当社の経営方針を十分に理解している当社が提案する候補者で構成される取締役会の体制が、企業価値向上において最適であると考えております。さらに、中期経営計画の2年目の数値目標に関しましても、達成を目指してまいります。

< (ご参考) 中期経営計画 >

(単位：百万円)

	2023年3月期(予想)	2023年3月期(実績) (注)	2024年3月期	2025年3月期
売上高	28,500	30,512	34,400	42,000
営業利益	650	681	1,000	1,750
経常利益	590	655	900	1,600
親会社株主に帰属する当期純利益	370	55	500	1,000

(注) 2023年5月15日付「2023年3月期 決算短信」公表数値

なお、2023年5月18日付「当社連結子会社元従業員による不正行為に関するお知らせ」に記載のとおり、当該不正行為に関する横領額および当該元従業員からの回収可能性に関して調査を行っており、監査法人との協議の後、2023年5月15日に公表しました2023年3月期の業績を修正させていただく予定です。

(2) 配当に関して

本株主提案では、恩田氏の経営の下で配当が行われたような記載がされておりますが、恩田氏は配当を行わない経営方針を有していたのであって、実際、連結子会社のITbook株式会社の代表取締役に就任してから、当社の代表取締役を退任するまでに配当の実績はありません。前氏におきましては、サムシングホールディングス株式会社(現：株式会社サムシング)で上場していたときに配当の実績を有しており、株主還元において、配当の重要性は十二分に理解しております。その上で、当社グループの現状を鑑み、新中期経営計画を策定し、売上重視から利益重視の経営、財務基盤の安定化を掲げております。

2022年5月16日公表の「中期経営計画の変更のお知らせ」に記載のとおり、中期経営計画の数値目標を達成し、株主の皆様へ配当を実施できるようにしてまいりたいと考えております。

(3) 結論

これらの理由に基づき、当社の企業価値の向上の観点から慎重かつ十分な審議を行った結果、当社取締役会としては、会社提案の取締役候補者7名が選任されることこそが、当社の持続的な企業価値並びに全てのステークホルダーの共同利益の向上の観点から最善であり、本株主提案にある候補者の選任は不要と判断いたしました。

したがいまして、当社取締役会は本株主提案に「反対」いたします。

以上

株 主 提 案 書

令和5年4月21日

〒135-0061
東京都江東区豊洲三丁目2番24号
豊洲フォレシア9階
ITbook ホールディングス株式会社
代表取締役社長 前 俊守 殿

〒104-0061
東京都中央区銀座五丁目1番10号
株式会社ホワイトストーン
代表取締役 白石 恵子

東京都港区虎ノ門4-1-34-
2306
恩田 饒

株主提案書

株式会社ホワイトストーン（以下「当社」といいます。）及び恩田饒（以下「恩田」といい、当社と合わせて「当社ら」といいます。）は、ITbook ホールディングス株式会社（以下「ITbook」といいます。）の総株主の議決権の100分の1以上の議決権を6か月前から引き続き保有する株主です。

当社らは、会社法第303条第2項及び第305条第1項に基づき、令和5年6月開催予定の株主総会において、下記1に記載する議題を株主総会の目的とし、かつ、下記2に記載の議案の要領及び提案の理由を同株主総会の株主総会招集通知及び株主参考書類に記載することを請求致します。

1 提案する議題
取締役6名選任の件

2 議案の要領及び提案の理由
(1) 議案の要領

以下に記載する取締役候補者6名を取締役として選任する。

(2) 提案の理由

ITbookは、2009年11月から2021年3月まで恩田が経営に携わり、その間目覚ましい成長を遂げたところであるが、恩田が去った後、ITbookは無配を続けており、その企業価値は向上していない。

恩田は、ITbookや子会社の経営の要となっていた人材も次々と会社を去り、このままでは企業価値のさらなる棄損が避けられない状況となっていることを目の当たりにして、深く憂慮し、株主や従業員のためにはこの状況を放置できないと考え、自らが復帰して経営を立て直し、経営陣を刷新せざるを得ないと考えているとのことである。なお、恩田は、役員に復帰した場合、無配である限りは役員報酬を受領しない意向である。

当社は、恩田のこの考えに賛同し、ITbookの企業価値向上のために本株主提案を行うこととしたものである。

2009年から(統合前のITbook株式会社も含め)ITbookの企業価値を劇的に向上させた恩田に再度経営を委ね、他の取締役も一新することにより、的確な経営判断を行い、不適切な経営を改善することでコーポレートガバナンスを回復し、ITbookの株主に対して適切な配当を実現することをめざし、株主提案を行う。

記

取締役候補者は、以下のとおりである。

1 恩田 饒(おんだ ゆたか)

(1) 生年月日

1934年9月17日(88歳)

(2) 所有する株式数

298,900株

(3) 経歴

1962年4月	大和証券 入社
1989年6月	同社取締役
1991年5月	同社常務取締役
1991年6月	証券団体協議会常任委員長
1996年1月	KOBE証券取締役社長
2006年4月	株式会社シーマ代表取締役社長
2009年7月	ITbook株式会社顧問就任
2009年9月	同社執行役員COO就任

2009年11月	同社代表取締役社長就任
2012年3月	N E X T株式会社代表取締役社長就任
2012年4月	ITbook株式会社代表取締役会長兼CEO就任
2018年6月	ITbook株式会社代表取締役会長兼社長就任
2018年10月	ITbookホールディングス株式会社代表取締役会長就任
2021年6月	ITbookホールディングス株式会社代表取締役会長兼CEO退任
2021年6月	ITbookホールディングス株式会社名誉会長就任
2022年3月	ITbookホールディングス株式会社名誉会長退任

(4) 取締役候補者とした理由

恩田は、2009年7月にITbook株式会社の顧問に就任し、その後社長に就任して以来、約12年8か月間、同社及びその持株会社であるITbookホールディングスの経営に邁進いたしました。その結果、2009年には3億円程度であった売上高を2021年には約80倍の約256億円まで引き上げました。また、2000人程度であった株主が約2万人に増加したのは、東京証券取引所における歴代1位の記録となっています。この経験からも、また、様々な会社における経営の知見からも、現在のITbookを立て直し、ITbookの企業価値を向上させるためには恩田に取締役として経営を担ってもらうことが最適であると考えます。

2 立山 純子（たてやま じゅんこ）

(1) 生年月日

1980年10月29日（42歳）

(2) 所有する株式数

なし

(3) 経歴

2006年10月 弁護士登録

2006年10月 外国法共同事業法律事務所リンクレーターズ 入所

2009年4月～

2011年4月 外務省国際協力局気候変動課 勤務

2012年10月～ 第一中央法律事務所 入所（現職）

(4) 取締役候補者とした理由

立山純子氏は、弁護士の資格を有しており、法務に関する高度な専門知識を有しています。また、同氏は、外国法共同事業法律事務所および外務省国際協力局気候

変動課に勤務しており、国際的な知見や経験を有しているため、今後の事業展開において当該知見や経験が活かされ、ITbook の企業価値を向上させるための有益な提言が期待できるものと考えております。さらに、多様性確保の観点からも、女性であり法律家である立山氏が取締役会の構成員になることで、取締役会の活性化が図られ、ITbook の持続的な成長を確保するための強みとなるものといえます。

3 中嶋 英吉（なかじま ひでよし）

（1）生年月日

1958年1月21日（65歳）

（2）所有する株式数

なし

（3）経歴

1981年4月	日本ユニバック株式会社（現BIPROGY株式会社）入社
1984年5月	株式会社アルゴ 21（現キャノン IT ソリューションズ株式会社）入社
1987年10月	株式会社早稲田システム研究所（現早稲田システム開発株式会社）入社（北海道情報センター所長、東京本社営業企画部長、専務取締役を歴任）
2006年4月	株式会社スローグループ（現アイペット損害保険株式会社）専務取締役（CIO）就任
2009年4月	株式会社昭和システムエンジニアリング入社
2018年2月	NCD テクノロジーズ株式会社入社
2023年1月	NCD テクノロジーズ株式会社退職

（4）取締役候補者とした理由

中嶋英吉氏は、IT業界における長い経験を有しており、IT事業を中核としてきたITbookの経営に貢献できる専門的知識及び知見を豊富に有しています。また、複数の会社の取締役就任しており、企業の経営についても広範な経験と知識を備えています。このような観点から、中嶋氏が取締役に就任することで、その専門的な知見・経験を活かし、ITbookの企業価値を向上させるための有益な提言が期待できるものと考えております。

4 中川 隆進（なかがわ たかのぶ）

（1）生年月日

1944年8月2日（78歳）

(2) 所有する株式数

なし

(3) 経歴

1968年4月	大蔵省（現財務省）入省
1993年6月	神戸税関長
1995年5月	大蔵官房金融検査部長
1997年7月	日銀政策委員会大蔵省代表委員
2001年9月	第二地方銀行協会専務理事
2002年5月	第二地方銀行協会副会長・専務理事
2006年6月	株式会社トマト銀行取締役社長
2014年6月	株式会社トマト銀行取締役会長

(4) 取締役候補者とした理由

中川隆進氏は、大蔵省（現財務省）入省後、日銀政策委員会大蔵省代表委員、第二地方銀行協力副会長・専務理事などの要職を歴任し、財務、金融、その他経済全般に関する豊富な経験と幅広い見識を有しております。また、同氏は、2006年からは、株式会社トマト銀行の取締役として、長年にわたり経営に関与してきた経験もあり、これまで培ってきた専門的な経験・知識に基づき、経営管理を的確、公正かつ効率的に遂行することができるものと考えております。

5 佐藤 純夫（さとう すみお）

(1) 生年月日

1958年3月19日（65歳）

(2) 所有する株式数

なし

(3) 経歴

1976年4月	東京国税局総務部
1987年7月	東京国税局査察部 査察官
1990年4月	東京地方検察庁特別捜査部 主任捜査官
1992年4月	東京国税局査察部 査察官・主査・補佐等を歴任
2006年7月	西川口税務署 副署長
2008年7月	東京国税局査察部 特別国税査察官・統括官を歴任
2011年7月	長井税務署 署長
2013年7月	東京国税局査察部 査察審理課長
2014年7月	東京国税局査察部 査察総括2課長

2015年7月	東京国税局査察部 査察管理課長
2016年7月	東京国税局査察部 次長
2017年7月	芝税務署 署長
2018年8月	佐藤純夫税理士事務所

(4) 取締役候補者とした理由

佐藤純夫氏は、東京地方検察庁特別捜査部の主任捜査官や東京国税局査察部の次長などの要職を歴任し、現在は税理士として活動しており、税務及び企業会計に関する高度な知見と経験を有していることから、同氏が経営に参画することによって、税務上のメリットやリスク等を踏まえた的確な意思決定を行うことができるものと考えております。

6 吉森 章 (よしもり あきら)

(1) 生年月日

1949年1月29日 (74歳)

(2) 所有する株式数

なし

(3) 経歴

1972年4月	住友化学工業株式会社 入社
1996年4月	日本アーンストアンドヤングコンサルティング株式会社 入社
2003年3月	L u s h I n c. 副社長兼株式会社ラッシュジャパン社 長就任
2006年11月	株式会社コトブキ 取締役
2015年4月	コトブキホールディングス株式会社代表取締役社長
2018年6月	株式会社NEW ART HOLDINGS 取締役社長
2019年6月	株式会社NEW ART HOLDINGS 取締役
2020年6月	株式会社NEW ART HOLDINGS 専務取締役 (現任)
2021年2月	NEW ART DIAMONS (SINGAPORE) P T E. L t d. D i r e c t o r (現任)

(4) 取締役候補者とした理由

吉森章氏は、長年にわたり、国内外の複数の企業において経営に関与しており、国内外の経済事情について精通しているとともに、長年の企業経営によって培わ

れた経営に関する豊富な経験と幅広い見識を有しております。また、同氏は、グループ経営についても深い知見と豊富な経験を有しており、グローバルな視点を踏まえ、ITbook グループ全体の企業価値の向上に貢献することを期待しております。

(注)

- 1 各取締役候補者と ITbook との間には、特別な利害関係はありません。
- 2 立山氏、中嶋氏、中川氏及び佐藤氏は、会社法施行規則 2 条 3 項第 7 号に定める社外取締役候補者であります。
- 3 立山氏及び中川氏は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員の要件を満たしており、独立役員として届け出る予定です。
- 4 ITbook は、定款において取締役（業務執行取締役であるものを除く。）との間で、会社法第 427 条第 1 項の規定により、同法第 423 条第 1 項の損害賠償責任を限定する契約を締結できる旨を定めており、本議案が承認された場合には、立山氏、中嶋氏、中川氏及び佐藤氏との間で、損害賠償責任の限度額を法令の規定する額とする契約を締結する予定です。

以上